

IMF「世界経済見通し」(2022年7月時点)

2022年7月27日

～IMFは世界の経済成長率見通しを下方修正～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は7月26日に発表した「世界経済見通し」で、2022年の世界の経済成長率（実質GDP伸び率）見通しを3.2%と、2022年4月に示した前回の数値から0.4ポイント下方修正しました。歴史的な高水準で推移する物価上昇率とその抑制を目的とした金融引き締め政策、中国のロックダウンなどが経済の逆風となっています。また、2023年の同見通しは2.9%と、各国の金融引き締め政策による影響などにより前回の数値から0.7ポイント下方修正しました。

2022年について国別では、先進国の経済成長率見通しが2.5%と、前回の数値から0.8ポイント下方修正されました。特に米国の経済成長率見通しは前回の数値から1.4ポイント下方修正され、主要国では最も大きな下方修正となりました。賃金の伸びを上回る物価上昇による家計購買力の低下、金融政策の引き締めなどが主な要因です。また、コロナ禍からの回復が遅れている日本の経済成長率見通しも大きく下方修正されました。新興国の経済成長率見通しは3.6%と、前回の数値から0.2ポイント下方修正されました。特に中国の経済成長率見通しは、ゼロコロナ戦略に基づくロックダウンの強化と不動産危機の深刻化により前回の数値から1.1ポイント下方修正され、世界全体への重大な波及効果を伴っているとの認識が示されました。

2022年の物価上昇率見通しは先進国が6.6%、新興国が9.5%と、2022年4月に示された前回の数値からそれぞれ0.9ポイント、0.8ポイント上方修正されました。また、世界経済はインフレ期待のより持続的な高止まりや金融政策の更なる引き締めといった下振れリスクを抱え、これらのリスクが顕在化した場合には2022年の世界の経済成長率は約2.6%になるとのシナリオも示されました。

◆ IMF「世界経済見通し」(2022年7月時点)

	2021年	IMF見通し			
		2022年	前回比	2023年	前回比
世界	6.1%	3.2%	-0.4%	2.9%	-0.7%
先進国	5.2%	2.5%	-0.8%	1.4%	-1.0%
米国	5.7%	2.3%	-1.4%	1.0%	-1.3%
日本	1.7%	1.7%	-0.7%	1.7%	-0.6%
ユーロ圏	5.4%	2.6%	-0.2%	1.2%	-1.1%
新興国	6.8%	3.6%	-0.2%	3.9%	-0.5%
中国	8.1%	3.3%	-1.1%	4.6%	-0.5%

(出所)IMFのデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。